

～知識を持つと行動が変わる！～

# 建設安全マネジメント資格制度の 創設とその必要性

日本認証株式会社 三原 泰司

# Contents

---

- 1.現状と課題
- 2.課題解決のために
- 3.一つのアプローチ
- 4.何が変わるか、何が変えられるか
- 5.まとめ

# Contents

---

## 1.現状と課題

2.課題解決のために

3.一つのアプローチ

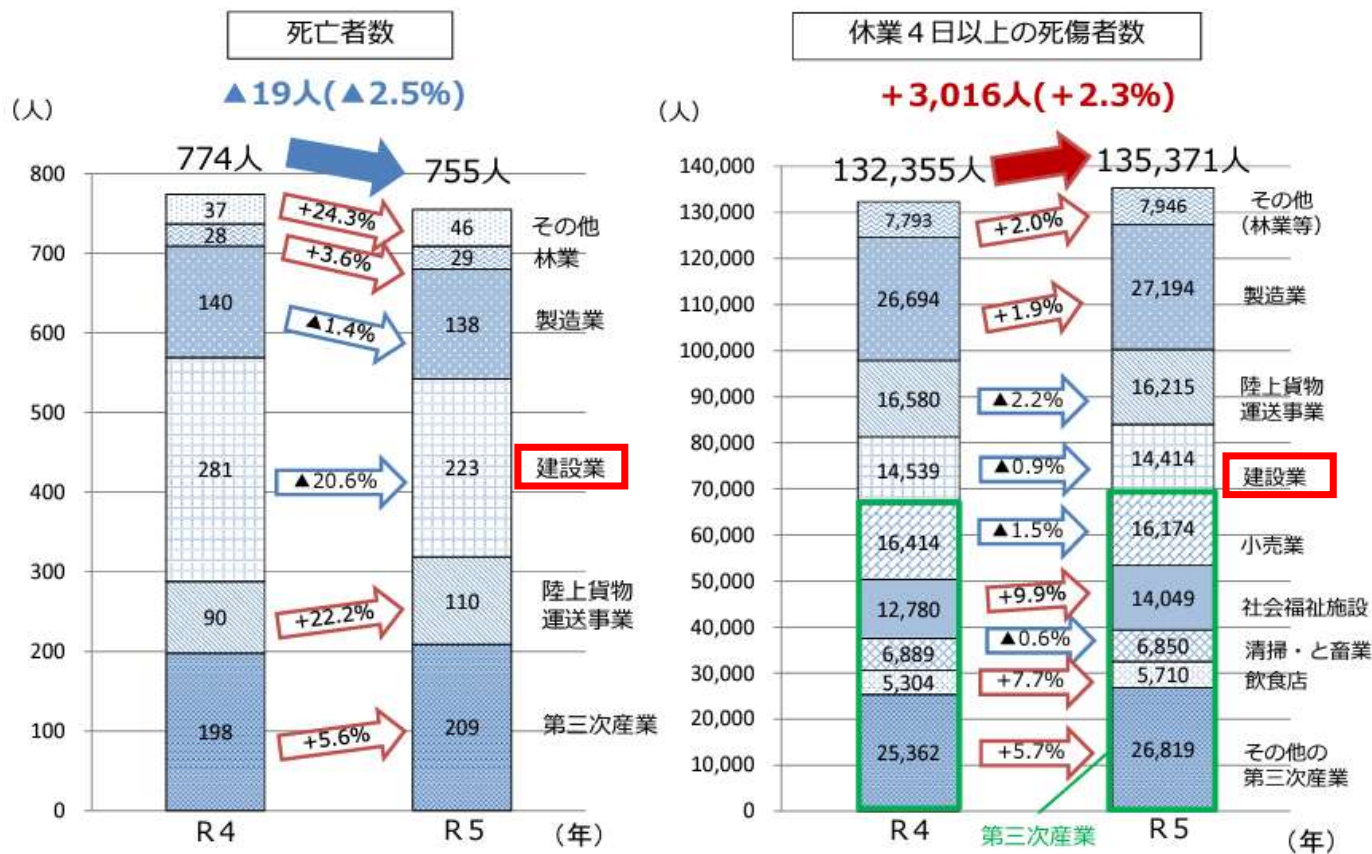
4.何が変わるか、何が変えられるか

5.まとめ

# 労働災害（業種別死亡者・死傷者数）

## 令和5年 業種別労働災害発生状況（確定値）

○ 令和5年1月1日から12月31日までに発生した労働災害について、令和6年4月8日までに報告があったものを集計したもの



出典：厚生労働省 労働基準局 平成5年労働災害発生状況

# 事故の型別労働災害（建設業）

表 11 建設業における労働災害発生状況（事故の型別）

		H30	R1	R2	R3	R4	R5
死亡災害		309	269	256	278	281	223
業種別	土木工事業	111	90	101	100	108	87
	建築工事業	139	125	101	132	117	98
	その他の建設業	59	54	54	46	56	38
事故の型別	墜落・転落	136	110	95	110	116	86
	交通事故（道路）	31	27	37	25	24	25
	飛来・落下	24	18	13	10	16	21
	崩壊・倒壊	23	34	27	31	27	18
	はさまれ・巻き込まれ	30	16	27	27	28	13
	おぼれ	13	4	5	10	1	12
	高温・低温物との接触	11	10	9	11	14	12
	激突され	18	26	13	19	27	10

表 11 建設業における労働災害発生状況（事故の型別）

		H30	R1	R2	R3	R4	R5
死傷災害		15,374	15,183	14,790	14,926	14,539	14,414
業種別	土木工事業	3,889	3,808	3,933	4,038	3,942	3,852
	建築工事業	8,554	8,417	8,074	7,895	7,606	7,510
	その他の建設業	2,931	2,958	2,783	2,993	2,991	3,052
事故の型別	墜落・転落	5,154	5,171	4,756	4,869	4,594	4,554
	はさまれ・巻き込まれ	1,731	1,693	1,669	1,676	1,706	1,704
	転倒	1,616	1,589	1,672	1,666	1,734	1,598
	飛来・落下	1,432	1,431	1,370	1,363	1,318	1,234
	切れ・こすれ	1,267	1,240	1,257	1,339	1,272	1,234
	動作の反動・無理な動作	875	885	947	981	940	988
	激突され	832	842	791	825	800	781
	高温・低温物との接触	340	238	289	210	233	307

# “リスクアセスメントの実施支援システム”の実施例から

職場のあんぜんサイト Ministry of Health, Labour and Welfare **ドラグ・ショベルによる地山の掘削及びダンプトラックによる積込み搬出作業**

①-1 作業区分	①-2 作業名	②危険性又は有害性と発生のおそれのある災害	③すでに実施している災害防止対策とリスクの見積り(法定事項等)			④追加のリスク低減措置案と措置後のリスクの見積り			⑤措置実施日		
			実施している災害防止対策	重篤度	可能性	(優先度)	追加のリスク低減措置案	重篤度		可能性	(優先度)
ドラグ・ショベル作業	地山の掘削作業	作業者がドラグ・ショベルの作業範囲内に立ち入り、旋回時にドラグ・ショベルと接触又は激突する。	①立入禁止区域を設定し、周知する。(安衛則158条) ②誘導者を配置し、誘導させる。(安衛則158条) ③運転者は誘導者の合図に従う。(安衛則159条)	△	△	II	①ドラグ・ショベルに監視カメラまたは近接危険センサーを設置する。 ②特定元方事業者は、関係請負人に作業計画等を周知する。(安衛法第30条関連)	△	○	I	#####

[災害の重篤度] ×=致命的・重大 △=中程度 ○=軽度  
 [可能性] ×=頻繁・可能性が高いか比較的高い △=時々・可能性がある ○=ほとんどない・可能性がほとんどない  
 [優先度] III=直ちに解決すべき又は重大なリスクがある。 II=速やかにリスク低減措置を講ずる必要のあるリスクがある。 I=必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクがある。

厚生労働省職場の安全サイトから:[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/risk/kensetu\\_index.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/risk/kensetu_index.html)

# 用語について

---

例 “リスク”について

■【厚生労働省(「危険性又は有害性等の調査等に関する指針」2006年3月)】

リスク: 危険性又は有害性によって生ずるおそれのある負傷  
又は疾病の重篤度及び発生する可能性の度合

■【JIS B9700】:機械類の安全性 –設計のための一般原則 リスクアセスメント及びリスク低減

リスク: 危害の発生確率と危害のひどさの組合せ

■【JIS Q 31000:2019】:リスクマネジメントー指針

リスク: 目的に対する不確かさの影響

# Contents

---

- 1.現状と課題
- 2.課題解決のために**
- 3.一つのアプローチ
- 4.まとめ何が変わるか、何が変えられるか



# 課題解決のために

---

## 現状の問題点

- リスクに対する基礎的な知識と各分野毎の考え方の理解の不足
- リスクアセスメントに基づく対策が原則論にとどまっている。
- リスクの対応にヒトのエラー特性が考慮されていない場合が多い



建設現場は、多様な作業環境の中で、多くのステークホルダーが関係して、機械・設備・製品を用いて作業して建設構造物を作り上げるため、施工に伴うリスクへの対応は各分野のリスクへの考え方を理解して共通の考え方を基に対処する必要がある。

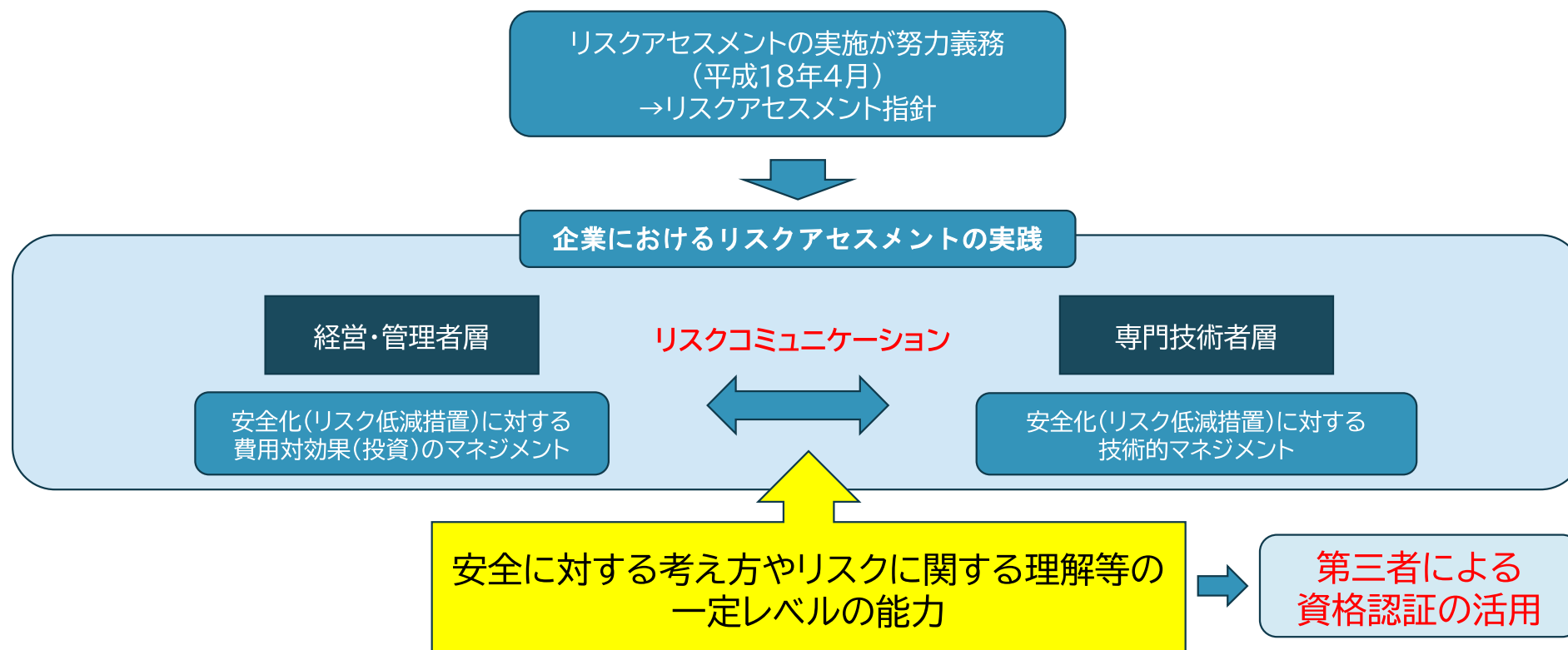
# Contents

---

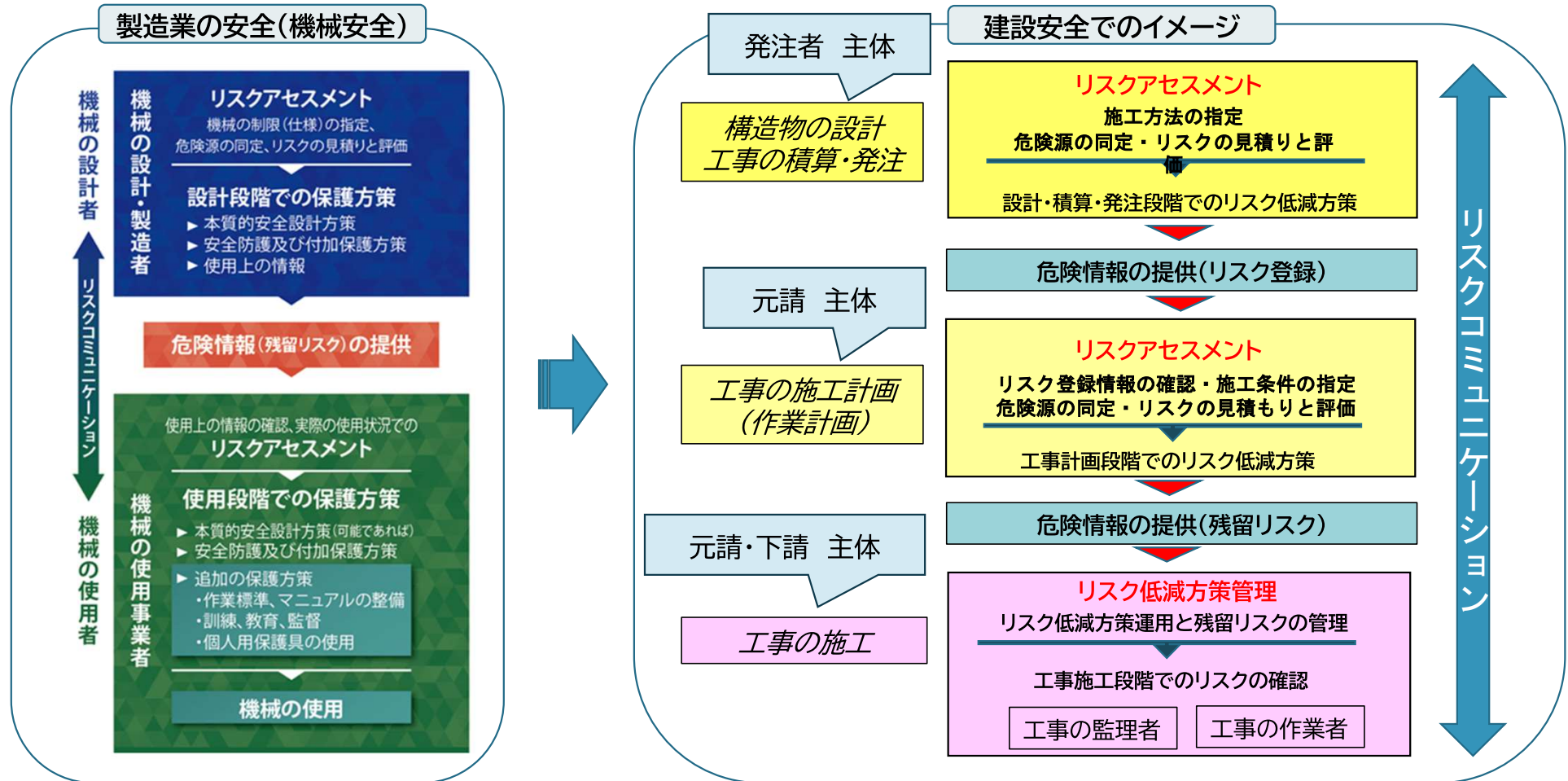
- 1.現状と課題
- 2.課題解決のために
- 3.一つのアプローチ**
- 4.何が変わるか、何が変えられるか
- 5.まとめ

# 一つのアプローチ

製造業で進められてきた課題改善を参考にする



# 製造業と建設業のリスクコミュニケーションプロセスの違い



# Contents

---

- 1.現状と課題
- 2.課題解決のために
- 3.一つのアプローチ
- 4.何が変わるか、何が変えられるか
- 5.まとめ

# 資格取得による人材育成

目標

建設工事のリスクに対して正しく向き合える人材育成

## 現状の問題点

- リスクに対する基礎的な知識と考え方の理解の不足
- リスクアセスメントに基づく対策が原則論にとどまっている。
- 安全衛生活動の関連性が不明確
- 安全活動にヒトのエラー特性が考慮されていない再発防止対策



## 目指す姿

- リスクに対して正しい知識と考え方をもって向き合う
- リスクアセスメントによる効果的なリスク低減方策の実践
- 統一感のある安全衛生活動
- 実効の上がる安全衛生対策

# 建設業での安全マネジメント資格活用イメージ

## リスク低減に対する責任の明確化

- 役割と責任の明確化
- 機械・設備の正しい使用
- ヒューマンファクターへの配慮

## 取得者のモチベーションアップ

- 組織経営者層
- 組織の責任者層
- 現場管理技術者層

## 第三者認証による 能力(安全資格)

## 有機的な安全衛生活動の推進

- リスクアセスメント
- KY活動
- 朝礼
- 巡視活動

## 組織の安全文化の形成

安全リテラシーの高い組織  
↓  
ステークホルダーの信頼

# Contents

---

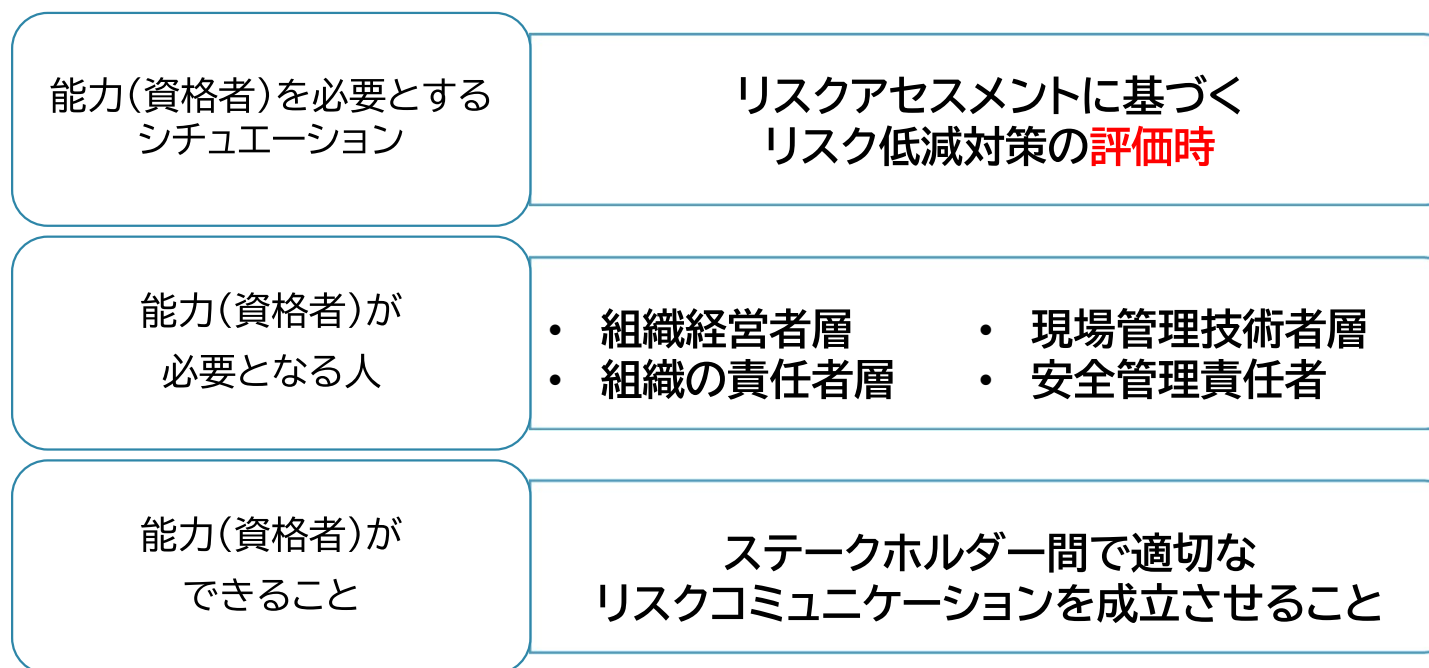
- 1.現状と課題
- 2.課題解決のために
- 3.一つのアプローチ
- 4.何が変わるか、何が変えられるか
- 5.まとめ(実効性について)



# 資格活用の実効性

---

## リスク低減計画のサポート→発注者・元請け・関係請負人



# ありがとうございました



## 建設セーフティオフィサ資格



【要員認証制度のご案内】

運営



建設関係者として  
必須の「安全」に関する  
知識保有と理解を認証

建設工事においては、発注者、元請事業者及び関係請負人など  
多くのステークホルダーの安全確保が重要課題です

### 資格取得のメリット

災害の発生を未然に防ぎ、安全だけでなく生産性の向上にも寄与します

### 職務に応じた3つの資格区分

資格区分	建設セーフティエグゼクティブ (SE-C)	建設セーフティマネージャ (SM-C)	建設セーフティスタッフ (SS-C)
資格対象者	SE-C 建設セーフティエグゼクティブ	SM-C 建設セーフティマネージャ	SS-C 建設セーフティスタッフ
職務	工場の発注に関わる 組織の幹部	工場の発注に関わる 組織の責任者・管理者	—
職務	工事を請負う店社の 経営幹部・責任者・管理者	工事(現場作業)管理組織の 責任者・管理者	工事(現場作業)管理に関わる 実務担当者

### eラーニングで建設安全を学び、Webで試験

時間・場所を選ばず、  
理解・知識習得ができ、試験を受験できます

#### eラーニング講師陣

「安全四学」  
「安全学」の第一人者である  
向殿政男先生  
(明治大学名誉教授(工学博士))  
+  
「建設安全」  
「労働安全・建設安全」に関する  
エキスパート

#### ①基礎安全学

- ・安全の大前提と安全目標
- ・安全とリスクの定義
- ・安全における役割と責任
- ・建設分野における基礎安全学

#### ②経営安全学

- ・安全は価値だ
- ・ヒューマンエラーと教育
- ・マネジメントシステムとリスクアセスメント
- ・建設分野における経営安全学

#### ③社会安全学

- ・安全の社会制度
- ・安全と責任
- ・事故調査の機構・制度
- ・建設分野における社会安全学

#### ④構築安全学

- ・リスクアセスメントの考え方
- ・リスク低減とスリーステップメソッド
- ・残留リスクの管理
- ・建設分野における構築安全学